

会 議 録

会議名	平成 29 年度第 1 回東浦町文化財保護審議会	
開催日時	平成 29 年 5 月 24 日 (水) 午前 10 時から午前 11 時 30 分まで	
開催場所	東浦町郷土資料館 講座室	
出席者	委員	石原弘幸氏、河合美三男氏、伊藤岱二氏、鈴木勝美氏、福岡猛志氏、高部淑子氏、鬼頭秀明氏
	事務局	恒川教育長、河合教育部長、磯村生涯学習課長、楠文化財係長、菅沼主任
欠席者	なし	
議題等	1 開会 2 あいさつ 3 平成28年度郷土資料館事業実績について 4 平成29年度郷土資料館事業計画について 5 東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱について 6 今後の主な行事予定について 7 その他	
傍聴者の数	なし	
審議内容	<p>◆開会 次第に従い会議を開会する。</p> <p>◆あいさつ 石原会長が、先頃行われた於大まつり行列と鉄砲隊のこと、町の文化財等保存活用事業ふるさと寄附金に触れあいさつ。教育長が乾坤院修復と、今回の報告事項及び審議事項について触れあいさつをする。</p> <p>◆事務局 会議の進行を会長にお願いする。</p> <p>◇会長 次第に従い議事を進める。 次第3「報告事項(1)平成28年度郷土資料館事業実績について」及び「(2)平成29年度郷土資料館事業計画について」事務局へ説明を求める。</p> <p>◆事務局 事業実績と事業計画を説明する。</p> <p>◇委員 史跡などの草刈をボランティアが行ってありがたいが、土地所有者への許可は。</p>	

◆事務局

事前に声をかけてもらえば、町が土地所有者を確認し、仲介をすることが出来る。

◇委員

天白遺跡の発掘体験をしてほしいという希望をきいているが。

◆事務局

体験教室などの企画を考えたい。時期や内容を事務局で詰めていく。

◇委員

熱中症対応など事故防止を。指導する補助員が必須で、発掘の説明会や座学、掘り方指導など事前に打ち合わせして、しっかりした体制を作ること。広報的なものは大事であり、文化財を地域の人に知ってもらう良い機会。地域の人に知ってもらわないと、文化財保護は出来ない。

◇委員

緒川城主三代の墓所の下に、伐採した木があるが。

◆事務局

土地の所有者を調べて、処置をお願いする。

◇会長

議事を終了し、事務局に進行役を返す。

◆事務局

次第4「その他（1）東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱について」で、指定文化財のうち建造物の補助率と上限補助額改正につき、国・県・町指定文化財の補助額均衡を重視した事務局案を示し、委員の意見を求める。

◇委員

文化財保護には、基本的に国とか自治体が責任を負うべき。個人の私有財産の処分権を制限するわけで、当然行政が責任を負う。文化財に指定をかける以上、指定した自治体が責任を持ち、それなりに補助して保存していくのが原則。補助率が上がるのは良いことで、委員会として評価したい。

◇委員

県指定への補助額は下がっているが、現在が県指定だけ突出した補助が出る形なので、これで町指定・県指定・国指定文化財への補助額のバランスがとれる。

	<p>◆事務局 審議会の総意として、基本的に補助金を増やすのは賛成であること、補助率を均衡にする点でも賛成であるか、を確認する。</p> <p>◇委員 異議なし</p> <p>◇委員 県指定の大樹寺の旧裏一の門について破損を審議会に報告。応急処置を早急にした方が良い。</p> <p>◆事務局 次第4「その他（2）今後の主な行事予定について」で、平成29年6月27日に知多地方文化財保護委員会連絡協議会役員会、10月24日に同委員会の研修会が開催されること、文化財消防訓練日程を説明。委員に質問等を求める。</p> <p>◇委員 質問なし</p> <p>◆事務局 次第4「その他（3）その他」で、文化財等保存活用事業寄附金の説明と、資料館企画展を案内する。委員に質問等を求める。</p> <p>◇委員 堅雄堂の瓦の復元というのは。</p> <p>◆事務局 堅雄堂の屋根頂部の宝珠の瓦を組み立て、無いところを復元し、資料館で展示を考えている。</p> <p>◆事務局 本日の会議日程をすべて終了した旨を告げ閉会とする。</p>
備考	なし